令和元年９月３０日

会員各位

協会だより―0010(10月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

２・【トピックス】：

● 第２４２回月例会（一泊研修会）の実施
日　　程：１０月４日（金）－５日（土）
研修場所：小名浜製錬株式会社
住　　所：福島県いわき市小名浜字渚１－１　電　　話：0246-54-5333
参加会社：３３社　４６名

● 第３９回ＪＳＣＲＡ会
日　　程：１０月５日（土）
場　　所：小名浜カントリー倶楽部　６組２４名

● OB 有志の会
日　　程：１０月１日（火）17：00-19：30
場　　所：北海道料理ユック新橋店
参加予定：１０名

一．協会よりのお知らせ
二．［トピックス］
三．［実施済事項］
四．［予定事項］
五．［その他・会員情報］
六．［事務局より（１０月度の予定）］
七．［雑学・武蔵国から　記　小林尚道

３．【実施済事項】

① **協会だより０００９（９月号）**をＨＰに更新・各会員並びにＯＢ各位に配信

② **第２４１回月例会（触媒工業協会共催講演会・懇親会）を９月９日如水会**館にて実施致しました。

第一部講演会は演題「脱炭素社会に向けた国際エネルギー状況と展望」について、**田中伸男様**に講演頂きました。ＰＤＦ５４ページに亘り石油、太陽エネルギー、風力、原子力まで各カテゴリーでの現状・問題点、今後の展開などについて説明がありました。田中伸男様略歴、**公益財団法人笹川平和財団会長**、東京大学経済学部卒業。１９７３年現経済産業省入省。通商政策局総務課長、経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）科学技術産業局長などを経て、２００７年９月欧州出身者以外で初めて**国際エネルギー機関（ＩＥＡ、本部パリ）の事務局長**に就任。２０１１年８月に事務局長を退任し、日本エネルギー経済研究所特別顧問などを経て、２０１６年１２月より現職。著書に「油断への警鐘」

その後の懇親会には４４名が参加しました。安田会長が中締めで以下の挨拶をされましたので紹介致します。

「本日は触媒工業協会と触媒資源化協会の合同講演会に、このように多数お集まり頂きまして、大変ありがとうございます。また、田中会長におかれましては、大変興味深い御講演を頂きましてまことにありがとうございます。ここで、一言だけお話しさせて頂きたいのですが、本日は田中様に非常にスケールの大きなお話をしていただきましたが、私どもが携わっている触媒を作る仕事、こちらはエネルギーを作るために欠くべからざるものを作っている仕事ですし、その逆に位置する触媒を再生する仕事、資源化する仕事も省エネルギーという意味では非常に重要な仕事でございます。ですから、私どもも誇りをもって自らの仕事に取り組み、微力ながらもエネルギー事情の改善に貢献したいと強く感じた次第でございます。

それでは、一丁締めで締めさせて頂きます。それでは、両協会の今後の発展を祈念致しまして締めさせて頂きます。」

③ **第２４２回月例会（研修会）及び第 39 回ＪＳＣＲＡ会の参加費徴収**

④**【会員専用ＨＰの更新】**

●９月度の経費明細

●第２４１回月例会（共催講演会・懇親会）参加者一覧ＰＤＦ公開

●第２４１回月例会・講演会の写真公開ＰＤＦ

●第２４１回月例会・懇親会の写真集１－５　ＰＤＦ公開

●第２４２回月例会最終参加者名簿ＰＤＦ公開
●第２４２回月例会宿泊先ホテルの同室名簿公開
●第２４２回月例会・小名浜製錬株式会社訪問者リスト公開
●第２４２回月例会・懇親会　宴会室席名簿

⑤　**第２４１回月例会・折半費用代金（３６９，６４７円）を触媒工業協会へ振込**
⑥　**第２４２回月例会のホテル代金（宿泊者４０名分・バス貸切他）振り込み**
⑦　**ＲデザインへＨＰメンテナンス費用４－９月分の振込**

４．【予定事項】

①　協会だより００１１（１１月号）の発行
②　第２４２回月例会の実施
③　第３９回ＪＳＣＲＡ会の実施
④　ＯＢ有志の会開催　　参加予定者（敬称略）
清水進（第７代会長、田中貴金属工業 OB）；西川久雄（運営委員長、触媒化成工業 OB）；川原晋（運営委員長、日揮化学 OB）；三浦良雄（会計、中外鉱業 OB）；安藤泰隆（第３代専務理事、触媒化成工業 OB）；小林尚道（副会長・第４代専務理事、日本無機化学工業 OB）；服部彌徳（副会長、服部産業）；細田顕治（副会長、松田産業）；；市村光志（第９代会長、エヌ・イーケムキャットＯＢ）；角田英夫（現・専務理事、田中貴金属工業 OB）

５．【その他・会員情報】

●　**アドバンストマテリアルジャパン株式会社（賛助会員）の担当者変更**
１０月より従来担当者共田さんの退職に伴い、**林達也**氏が新担当者となります。
携帯番号は従来通りでメールアドレスは ta-hayashi@amjc.co.jp です。

６　．事務局（１０月度の出勤予定）　　出勤予定●：８日間

日	月	火	水	木	金	土
		10/01	10/02	10/03	10/04	10/05
		●		●	●研修会	研修会
10/06	10/07	10/08	10/09	10/10	10/11	10/12
		●			●	
10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19
	体育の日		●			
10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26
				●		
10/27	10/28	10/29	10/30	10/31		
				●		

（文責：専務理事）

【雑学】武蔵国府跡から国分寺・国分尼寺跡、府中市・国分寺市を訪ねる（２）

前報に続いて国分寺を歩く。

《武蔵**国分寺跡**》国分寺市西元町二丁目、三丁目

＜国史跡＞となっている。

ただの広い原っぱのようにしか見えないが、発掘調査の結果、広範囲に金堂、講堂、七重塔が置かれていたという。寺域は東西 1.5ｋｍ、南北 1ｋｍに及び諸国の国分寺に比べ全国最大の規模を誇ったと言う。

建物があったところは盛土され、柱があったと言う場所には礎石が置かれている。

復元の案内板（次の写真）が置かれているが想像するしか無いようだ。

現・国分寺のところで概略記したが、元弘 3 年（1333）に新田義貞と鎌倉幕府執権北条高時が分倍河原（府中市）で戦った時、新田勢の放った火によって焼け落ちた。義貞は薬師堂再建に尽くしたが、盛時の繁栄にはならなかった。

国分寺資料館の前庭で七重塔のミニチュア版を見たが、国分寺跡地の外れに木々に囲まれ七重塔跡がある。其処は石柱で囲み自然石の礎石が置かれているだけだ。その左には近代の銅像が置かれていたような高さ 2m程の台座がある。危険登らないで！とあるが本体の銅像は誰の像であったかは不明である。想像するに第二次大戦中（昭和 18 年頃）に金属供出され、そのままなのであろうか？

七重塔跡から西へ国分尼寺跡へと向う。元町通りをたどり市立四中入口の信号で府中街道を横断すると、渡った所に国分尼寺方面こちらの石柱と、この先自動車通り抜け出来ませんとの黄色い看板が目に付く。しばらく行くと JR 武蔵野線のガードがあり潜ると国分尼寺跡へ到着だ。

横断した府中街道には、ぶんバスのバス停「黒鐘公園入口」がある。お疲れの場合は国分尼寺見学をパスして JR 西国分寺駅へ行くことも可能だ。

《**国分尼寺跡**》国分寺市西元町四丁目 3,4,11
＜国史跡＞となっている。

尼寺跡は住宅も近接し、まるで住宅地の中の公園の様だ。東山道武蔵路を挟み東に国分寺、西に国分尼寺が建立された。平成 19 年「日本の歴史公園 100 選」に選出された。

本日は殆ど史跡（地べた）を見るウオーキングであった。東屋にて次回のコース説明を聞いた後、伝鎌倉街道、史跡通り（住宅内の細道？）を通り、JR 西国分寺駅で解散となる。

（記：小林尚道）